

要件定義書

フルネーム

開発プロダクト

〇〇

要求

〇〇〇〇

機能要件

【必須】

- ログイン(管理者や一般ユーザなどの権限ごとにやれることや機能が異なる)
- プロジェクト作成(タスク切、優先度、画像共有などプロジェクト管理ツールに必要なもの)
- マイページ(自分のタスク表示など)
- タスクステータス登録

その他、必要に応じて機能要件を追加する

非機能要件

【必須】

- セキュリティ
 - 認可: SPAでの開発になる予定、バックエンド側でID、PWでログイン認可
 - 認証: SPAでの開発になる予定、ローカルストレージ + JWTが妥当
 - 認証: 権限ごとに使える機能が異なるため、相応の権限確認プロセスが必要
- 運用・保守性
 - 単体テストを行い、不具合やバグ混入を低減
 - ロギングによる不具合の早期検知、監視は無理
 - 運用規約の策定と遵守
 - デプロイ前にQodanaを使って解析を行い、問題があれば、必ず解決する。解決できない場合は、メンバーに相談し、許容するかどうか決めること
 - コーディング規約は社内規約を遵守すること
- 性能・拡張性
 - スケーラブルかつ仕様変更に応じたソフトウェア設計

- ユーザ数の増加やトラフィックの増加でも耐えうるトランザクション、アプリケーション設計

※その他、必要に応じて追加する

ペルソナ

〇〇の全職種の社員をペルソナと設定する。

ここからは、利用状況について説明する。

なお、〇〇社内の職種を「エンジニア職」と「ビジネス職」の2つに分けることを前提とする。ビジネス職とは、エンジニア職以外を指す。

その上で、ビジネス職を含めたプロジェクトを行う時に利用してもらうことを想定している。

ペルソナが感じている課題とその解決方法

- チームや組織によってプロジェクト管理方法がバラバラである（主にスプレッドシート）
 - 今回作成するアプリを利用してもらうことで、プロジェクト管理方法を統一してもらう
 - 具体的には、スプレッドシート（ガントチャート）を使ったプロジェクト管理を今回のツールで置き換える
- 情報共有は**Slack**、スケジュールは**Google**カレンダーを利用している
 - 今回作成するアプリはあくまで「プロジェクトとタスクの管理」を行うものであり、これらのツールも引き続き利用する
- タスクの共有・編集がしにくい
 - アプリ上で簡単に編集することができる
 - タスク振りもアプリ上で行うことができる（タスクの共有）
- 連絡は**Slack**でできるものの、資料の場所がバラバラである
 - チーム画面・プロジェクト画面・タスク画面のそれぞれにはメモ機能がついている。そこで、全体へ共有すべき事項（資料の場所のURL）を記載することができる
- タスクが漏れていないか判断が付かない
 - プロジェクトとタスクの一覧表示をすることで可視化する
- 他のタスクの調整（開始日、終了日を変えるとか）が特に面倒
 - プロジェクトやタスクの開始日と終了日を簡単に編集することができる
- 新しいタスクが入ってきたときに、他のタスクにどう影響するか考えないといけないのが面倒
 - 優先度が視覚化されていないため、そのタスク自体が超重要なのかを認識できていないことが問題だと考えた
 - そこで、タスクの優先度ラベルを可視化する機能をつけることにした
 - また、タスクの進捗状況（ステータス）についても可視化することができる

- どこでどれだけ予定が狂ったのかが振り返りにくい
 - スケジュールの変更履歴を残す
 - 期限を超過していた場合には表示方法を変える
 - 元々予定していたスケジュールと、プロジェクト終了時点のスケジュールの差分を比較できるようにする
 - なお、プロジェクト進行中であっても差分を比較できる(現時点での振り返りを行うことができる)

